



暖かい心 広い視野 行動力 『県民ひろば号外』

# もりちゃん通信

大分県議会議員 守永信幸活動報告

発行責任者  
大分県議会・県民クラブ  
守永 信幸  
〒870-0022  
大分市大手町3-2-9  
TEL 097-534-2021  
FAX 097-536-0595

もりちゃんの  
活動日誌

## 周辺地域の活性化策を磨こう



▲ななせダム（中央コア型ロックフィルダム）

### ◇ななせダム（大分川ダム）竣工

11月24日に大分川ダムの竣工式がありました。大分川ダムは1970年に予備調査が始まり、78年に建設事業開始。2013年にダム本体関連工事に着手し、約50年の時を経て竣工に至りました。

当初は反対運動もありましたが、その後の人口増加や渇水などによる水の必要性、洪水被害への対策の重要性への理解が進む中で、地元の皆さんとの協定も結ばれ、治水、用水確保、環境保全を目的として完成しました。

大分川ダムの水没地域や関連施設の建設用地に住んでいた住民35世帯が代替地に移転しています。2018年の試験湛水が開始された時には、ふるさとを失う寂しさを感じた方も居られると思います。多くの方々の協力によって完成したダムですが、今年の台風等で大雨が続いた際も大分川の水位上昇の抑止に効果を示したと伺いました。温暖化の影響等で経験のないような豪雨が頻発する時代に、私たちの暮らしを守る役割をしっかりと担っていただけるものと思います。

### ◇道の駅「のつはる」オープン

また、ダム湖の湖畔に道の駅「のつはる」が11月30日にオープンしました。緑が豊かで紅葉も見事な野津原の自然を楽しみながら、野菜の直販やおいしい料理を楽しんでいただくと地域の活性化にも一役を担う存在となります。

道の駅の対岸には多目的広場の整備が進められており、本年3月にはステージを備えた交流広場が完成する予定です。



▲道の駅「のつはる」

◀道の駅登録証の伝達



### 暮らしの相談承ります。

政治は暮らしに直結しています。守永信幸が暮らしの相談を承り、専門家とともに解決をめざします。まずは、お電話を！

TEL 097-532-4919  
FAX 097-534-6598

## 県議会第4回定例県議会

2019年最後の定例県議会で、私は一般質問に立つ機会を頂きました。ラグビー・ワールド・カップの大分県開催に関連して、異文化交流展開の更なる活性化、この大会を機にCO<sub>2</sub>削減に向けたCO<sub>2</sub>オフセットトライ事業の継続について訴えました。



また、JR駅無人化の問題点や地域公共交通の利便性向上策、がん対策、旧優生保護法被害者救済の課題、アスリートのセカンドキャリアとしての移住・定住策、県職員の働き方改革等について質問しました。詳しくは、大分県議会のHPでインターネット中継をお選びいただくと、議会での質問の様子が録画でご覧いただけます。ここでは2つの課題について触れさせていただきます。

### ◇がん対策について

大分県では1981年以降、死亡原因の第1位が「がん」です。そのため県では「大分県がん対策推進計画」を2018年3月に改訂し、「がん患者を含めたすべての県民が、がんを知り、がんの克服をめざす」ことを全体目標として各種施策に取り組んでいます。

「生涯健康で生活すること」は誰もが望むことですが、健康寿命日本一をめざす県のがん対策の現状と課題、取り組みを県民の皆様にも知っていただきたいと考え質問しました。

とりわけ患者さんの中には、就労を続けたいのに長期に及ぶ治療や身体への負担などで離職する方が多いことに着目し、患者の就労継続支援対策や、がん予防、がん患者を支える社会を創るがん教育（2020年度から順次実施予定）について尋ねました。

#### 【広瀬知事】

○県民の4人に1人ががんで死亡しているため、がん対策は重要。

○科学的根拠に基づく予防・検診の充実

◆予防には禁煙、減塩、野菜摂取といったことが有効

・「うま塩プロジェクト」「まず野菜、もっと野菜プロジェクト」など食生活改善に力点

◆がん死亡の減少には早期発見、早期治療が有効

・女性特有のがん検診の無料クーポン送付やコール・リコール事業での検診受診率向上

⇒しかし、受診率は目標の50%に届かず、働く世代の受診率が低いことから健康経営事業所等と連携して向上を図る。

注) コール・リコール とは

適切な対象者を確定し電話や手紙などで個別に受診勧奨を行う〈コール〉と、未受診者へ再度受診勧奨をする〈リコール〉による、受診勧奨の仕組み。

○患者本位のがん医療の実現、尊厳を持ち安心して暮らせる社会の構築

がん診療連携拠点病院等において、がん治療の進歩に対応できる体制を作っていく。

患者や家族がいつでも相談できる「がん相談支援センター」の周知に努める。

### 【福祉保健部長】～就労継続支援について～

医療の進歩による就業可能性向上にもかかわらず、就労中のがん患者の34%が離職。

県では「がん相談支援センター」で就労に関する相談に対応中。ハローワークの就労支援ナビゲーターが出張相談を実施、就労に関する専門的な支援を行っている相談支援センターもある。

### 【教育長】～がん教育について～

計画的な推進のため、専門医、PTA関係者などで構成する連絡協議会を設置。

実践校を指定し、教科横断的な指導の在り方や副教材の効果的な活用等の研究、教職員向け研修会実施、児童生徒・保護者を対象にした講演会等を実施している。

検証しながら指導方法の充実を図り、がんについて正しく理解し、健康と命の大切さを主体的に考えることができる児童生徒の育成に努める。

## ◇アスリートのセカンドキャリアの支援と移住施策

人口減少に歯止めをかける大分県版地方創生の取り組みでは、移住・定住の促進が重要です。大分県の移住者数は、2015年度の454人から18年度には1128人に増加しています。この流れをさらに加速させるには、地域で企業等と連携して移住・定住施策を推進すること肝要ではないでしょうか。

株式会社ベーマガフューチャーファーム中津支店は、スポーツ・体育関連の雑誌・書籍を発行するなどしているベースボール・マガジン社と関わりがあり、中津市でパイヤ農園を営んでいます。「作る人、食べる人の健康を守り、アスリートのセカンドキャリアを支援する」を企業コンセプトとしています。

医食同源を意識し、農薬や化学肥料に頼らない安全安心栽培に取り組むとともに、健康を意識して心身両面を鍛えてきたアスリートだからこそその発想で、アスリートのセカンドキャリアとして農業に取り組んでいます。これを踏まえて今後の取り組みの考えを尋ねました。



▲株式会社ベーマガフューチャーファーム

◀パイヤ

### 【企画振興部長】～移住者と企業とのマッチングに力点～

紹介の事例は新たなチャレンジとして興味深い。大切なことは人材を求める企業と移住を検討し仕事を求めるアスリートとのニーズが合致すること。

県では毎月、東京・大阪・福岡で移住相談会を開催。

おおいた産業人材センターによる県内企業と移住希望者のマッチング、就農学校やファーマーズスクールの紹介など対応中。

移住・定住の加速には受け入れ企業との連携が重要。

移住者の雇用に積極的な企業の掘り起こしと移住希望者のニーズを聞き取りながらマッチングに努める。

## 在日米軍の整理縮小と米軍移転演習の中止を

### 日出生台米軍移転演習で申し入れ

12月10日、大分県日出生台対策会議（代表＝久原和弘社民党県連代表）として尾野副知事に対して、来年2月に予定されている沖縄米海兵隊の155ミリりゅう弾砲移転演習の縮小・廃止を求めての申し入れを行いました。今回の申し入れでは、近年訓練内容の公開性が後退していることへの懸念を訴えました。その上で一昨年オスプレイを使用する訓練を日出生台で実施すると公表された後、防衛大臣に対して「移転訓練については苦渋の決断の中で受け入れており、将来的には縮小・廃止を求めている。大分県として、これ以上の負担は受けられない」と明言した広瀬知事の考え方に変わりがなく、尾野副知事としても同様の考えであることを確認しました。

また、自衛隊のオスプレイが佐賀空港に配備された場合に日出生台での訓練が懸念されますが、日出生台での自衛隊のオスプレイ使用についての考え方を尋ねたところ、「国の専管事項ではあるが、オスプレイ



▲ 155 ミリ榴砲弾



▲尾野副知事への申し入れ

の安全性についてしっかりとした説明がない中では、日出生台での使用は認められない。自衛隊が使用する場合は、安全性について納得できる説明がされる約束である」との見解も確認しました。

### 演習地周辺の安全性確保を

日出生台演習場周辺では、航空機が異常に低空で飛行する実態が現地からも報告されており、不安な思いで暮らしている方々があります。また、今回の申し入れでも報告がされましたが、授業時間中に砲撃の騒音が鳴り響き、破壊のための爆撃音を日常的に子どもたちに聞かせることは好ましいことではありません。演習場のあり方が議論されなければならないと考えます。

一昨年のおスプレイを利用した日米合同訓練では、演習に参加したオスプレイが観光客の多い繁華街上空に姿を現したことも新聞等で報道されました。市民の日常生活に影響を及ぼすことを問題視しなければなりませんし、その背景にある日米地位協定についても抜本的な見直しをさせなければなりません。

### お知らせ

- ◇常任委員会は「土木建築委員会」に所属。
- ◇行政や暮らしに関わる相談をお受けしています。お気軽にご連絡下さい。
- ◇グループでの集まりなどに、お声がけ頂ければ、日程を調整の上、参加させていただきます。
- ◇守永信幸後援会の会員を随時募集しています。年会費3千円です。守永の活動をご支援下さる方、ご連絡下さい。

連絡先：097-532-4919  
FAX：534-6598

### 編集後記

明けましておめでとうございます。皆様方には穏やかな初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。▶昨年は冬だというのに桜が満開の国会情勢でしたが、消費税率が上がり、今年は何の様な年になるのでしょうか。▶干支は新たな循環の始まり（子年）となりましたが、野党もしっかりと団結し、新たな好循環を生み出す原動力にならなければと考えます。▶私も「暖かい心、広い視野、行動力」のモットーのとおり皆様の笑顔のために全力を尽くして参ります。本年もよろしくお願い致します。